

作成日 2008年 9月 24日

改訂日 2015年 12月 7日

## 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : セビアン-A 435  
 会社名 : ダイセルファインケム株式会社  
 住所 : 東京都中央区日本橋馬喰町2-2-1  
           三井住友銀行浅草橋南ビル7階  
 担当部門 : ポリマー営業部  
 電話番号 : 03-5643-3582  
 F A X 番号 : 03-5643-3586  
 整理番号 : 435

## 2. 危険有害性の要約

## [GHS分類]

健康に対する有害性 : 急性毒性 (経口)区分 4  
 環境に対する有害性 : 水生環境急性有害性区分 3  
                           水生環境急性有害性区分 3  
 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

## GHSラベル要素



シンボル :  
 注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 飲み込むと有害 (H302)  
                           水生生物に有害 (H402)  
                           長期継続的影響により水生生物に有害 (H412)  
 安全対策 : 目、皮膚、または衣類に付けないこと。(P262)  
                           粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
                           (P260)  
                           保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)  
 応急措置 : 飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)  
                           皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)  
                           目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用  
                           していて容易に外せる場合は外すこと。  
                           その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)  
 廃棄 : 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業  
                           務委託すること。(P501)

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
 化学名 : エチレン-酢酸ビニル重合体を主成分とする水性エマルジョン  
 成分及び含有量 :

成分	含有量	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	C A S 番号
エチレン-酢酸ビニル共重合体	45~55%	$[(C_2H_4)_m(C_4H_6O_2)_n]_x$	6-6	24937-78-8
メチルシクロヘキサン	4~5%	CH <sub>3</sub> C <sub>6</sub> H <sub>11</sub>	3-2230	108-87-2
水	35~45%	H <sub>2</sub> O	対象外	7732-18-5
酢酸ビニル	0.1-0.3%	C <sub>4</sub> H <sub>6</sub> O <sub>2</sub>	2-728	108-05-4

危険有害成分 : メチルシクロヘキサン、酢酸ビニル

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 気分が悪くなった場合は、直ちに新鮮な空気の場所に移し、安静・保温に努め、速やかに医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 付着した衣服・靴を脱ぎ、付着した部分の水又は微温湯を流しながら洗浄する。
- 目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、眼科医の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 医師の救急処置を受ける。

#### 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、強化液、泡、粉末、二酸化炭素
- 特定の消火方法 : 製品自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。  
 燃焼の際は火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。  
 延焼の恐れのないように水スプレーで周辺を冷却する。  
 消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸用保護具を着用する。
- 消火を行う者の保護 : 呼吸用保護具を着用する。

#### 6. 漏洩時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には長靴・手袋・保護眼鏡等の保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 除去方法 : 流路を毛布・土のう等を用いてせき止め、多量流出の場合はバキューム等で汲み上げ、少量流出の場合はおが屑・土砂等を混ぜてペースト状として凝固回収する。  
 多量に流出した場合は、消防・警察・保健所に知らせる。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 換気のよい場所で行う。目・皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡・保護手袋等の保護具を着用する。スプレーミストやペーパーの発生する作業の場合は、防毒マスクを着用する。
- 注意事項 : スプレーミストやペーパーの発生する作業の場合は局所排気設備を設置する。
- 安全取扱い注意事項 : 特になし
- 保管
- 適切な保管条件 : 凍結・直射日光を避け、室内で5～40℃で保管する。  
 使用後は直ちに密封して貯蔵する。
- 安全な容器包装材料 : 鉄、銅製の腐食する恐れのある容器は使用しない。

#### 8. 暴露防止措置及び保護措置

- 設備対策 : 密閉された装置、機器又は局所排気装置で取扱うことが好ましい。  
 取扱い場所付近に洗身シャワー、手洗い、洗眼設備を設ける。
- 管理濃度 : (酢酸ビニル) 未設定、(メチルクロヘキサン) 未設定
- 許容濃度
- 日本産業衛生学会(2005年版) : (酢酸ビニル) 未設定、(メチルクロヘキサン) 400ppm
- ACGIH TLV-TWA(2005年版) : (酢酸ビニル) 10ppm、(メチルクロヘキサン) 400ppm
- TLV-STEL(2005年版) : (酢酸ビニル) 15ppm
- 保護具
- 呼吸用保護具 : 防毒マスク(吸収缶装着)
- 保護眼鏡 : 密着型保護眼鏡
- 保護手袋 : 耐薬品性の手袋
- 保護衣 : 不浸透性保護衣

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	
形状	: 液体
色	: 乳白色
臭い	: わずかな有機物臭
pH	: 4.0～6.0
物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲	
沸点	: 約100℃
融点	: 約0℃
引火点	: なし
発火点	: なし
爆発特性（爆発限界）	: 下限 知見なし、上限 知見なし
蒸気圧	: 知見なし
蒸気密度	: 知見なし
密度	: 約1.1 (20℃)
溶解性	: 水で無限大に希釈可能

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 室温では安定
反応性	: 自然発火性はない。水との反応性はない。
避けるべき条件	: 加熱・高温・凍結
避けるべき物質	: 特になし
危険有害な分解生成物	: 知見なし

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口	: 毒性値あり … 酢酸ビニル 2900 mg/kg、メチルシクロヘキサン 1200 mg/kg、分類対象外:エチレン・酢酸ビニル共重合体、水 混合物の急性毒性推定値が1231 mg/kg のため急性毒性(経口)－区分4とした。
	経皮	: 毒性値あり … 酢酸ビニル 2335 mg/kg、メチルシクロヘキサン 86701mg/kg、分類対象外:エチレン・酢酸ビニル共重合体、水 混合物の急性毒性推定値が 34168 mg/kgのため急性毒性(経皮)－区分外とした。
	吸入	: 分類対象外 … 酢酸ビニル、メチルシクロヘキサン、エチレン・酢酸ビニル共重合体、水 全ての成分が急性毒性(吸入:気体)－分類対象外のため急性毒性(吸入:気体)－分類対象外とした。
皮膚腐食性／刺激性		: 区分3 … 酢酸ビニル、メチルシクロヘキサン、分類対象外…エチレン・酢酸ビニル共重合体、水 混合物の成分の濃度合計が濃度限界以下のため皮膚腐食性／刺激性－区分外とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		: 区分2A … 酢酸ビニル、区分2B … メチルシクロヘキサン、分類対象外…エチレン・酢酸ビニル共重合体、水 混合物の成分濃度の合計が濃度限界以下のため眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性－区分外とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性		: 分類できない … 酢酸ビニル、メチルシクロヘキサン、分類対象外…エチレン・酢酸ビニル共重合体、水 呼吸器感作性－分類できない。 区分1 … 酢酸ビニル、分類できない:メチルシクロヘキサン 分類対象外…エチレン・酢酸ビニル共重合体、水 分類結果は皮膚感作性－区分外となるが、分類できない成分が 4.5%含まれるため皮膚感作性－分類できないとした。

- 生殖細胞変異原性 : 区分2 … 酢酸ビニル、分類できない…メチルシクロヘキサン、  
分類対象外…エチレン・酢酸ビニル共重合体、水  
分類結果は生殖細胞変異原性—区分外となるが、分類できない成分が4.5%  
含まれるため生殖細胞変異原性—分類できないとした。
- 発がん性 : 区分2 … 酢酸ビニル、分類できない:メチルシクロヘキサン  
分類対象外…エチレン・酢酸ビニル共重合体、水  
分類結果は発がん性—区分外となるが、分類できない成分が 4.5% 含まれる  
ため発がん性—分類できないとした。
- 生殖毒性 : 区分外 … 酢酸ビニルモノマー、分類できない:メチルシクロヘキサン、水  
分類対象外:エチレン・酢酸ビニル共重合体  
分類結果は生殖毒性—区分外となるが、分類できない成分が 4.5%含まれたた  
め生殖毒性—分類できないとした。
- 特定標的臓器毒性(単回暴露) : 酢酸ビニル 区分3(気道刺激性)、メチルシクロヘキサン 区分3(麻酔作用)、  
エチレン・酢酸ビニル共重合体 分類対象外、水 分類対象外  
混合物の成分濃度が濃度限界以下のため特定標的臓器毒性(単回暴露)—  
区分外とした。
- 特定標的臓器毒性(反復暴露) : 酢酸ビニル 区分2(呼吸器)、メチルシクロヘキサン 分類できない  
エチレン・酢酸ビニル共重合体 分類対象外、水 分類対象外  
分類結果は特定標的臓器毒性(反復暴露)—区分外となるが、分類できない  
成分が 4.5% 含まれるため特定標的臓器毒性(反復暴露)—分類できないとし  
た。
- 吸引力呼吸器有害性動粘性係数 : 不明  
区分1 …メチルシクロヘキサン、分類できない…酢酸ビニル  
分類対象外…エチレン・酢酸ビニル共重合体、水  
動粘性係数が不明なため吸引力呼吸器有害性—分類できないとした。

## 1 2. 環境影響情報

### 環境に対する有害性

- 水生環境急性有害性 : 区分2…酢酸ビニル 2.39mg/L、メチルシクロヘキサン3.3mg/L  
分類対象外…エチレン・酢酸ビニル共重合体、水  
混合物の成分の(毒性乗率X100X水生環境急性有害性—区分1)+(10X水  
生環境急性有害性—区分2)+水生環境急性有害性—区分3の濃度合計が  
47%のため水生環境急性有害性—区分3とした。
- 水生環境慢性有害性 : 区分2…メチルシクロヘキサン、区分外…酢酸ビニル  
対象外…エチレン・酢酸ビニルの共重合体、水  
混合物の成分の(毒性乗率X100X水生環境慢性有害性—区分1)+(10X  
水生環境慢性有害性—区分2)+水生環境慢性有害性—区分3の濃度合計  
が 45% のため水生環境慢性有害性—区分3とした。

### 生態毒性

- 魚毒性/その他 : LC50 96 (hr) ヒメダカ =2.39mg/L  
LC50 96 (hr) フラウンシュリンプ<sup>o</sup> =3.30mg/L

## 1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄物は焼却するか、産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。  
洗浄水等の廃水は凝集沈澱、活性汚泥などの処理により清浄にして  
から排出する。この時水質汚濁防止法に注意する。廃棄物について  
は廃棄物処理法や国、都道府県並びに地方の法規・条例に従う。
- 汚染容器・包装 : 空容器は内容物を完全に除去した後に処分する。

## 1 4. 輸送上の注意

- 国連分類 : 国連勧告の定義上、危険物に該当しない。
- 国内規制 : 該当する規制はない。
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 運搬に際しては容器の破損・漏洩がないことを確かめ、転倒・  
落下・破損のないように積込み、荷くずれ防止を確実にを行う。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法

: 通知対象物

酢酸ビニル (政令番号第180号)

メチルシクロヘキサン (政令番号576号)

## 16. その他の情報

記載内容の問い合わせ先

会社名

: ダイセルファインケム株式会社

住所

: 新潟県妙高市新工町1-1

担当部門

: ポリマー営業部 開発グループ

電話番号

: 0255-72-4358

FAX番号

: 0255-72-9803

引用文献等

: JIS Z 7253「GHSに基づく化学品の危険性有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」

日本化学工業協会編「製品安全データシートの作成指針」

化学工業日報社「化審法化学物質」

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合検査システム

中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター GHSモデルMSDS情報

注意 : 記載した内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により、改訂されることがあります。また、注意事項は通常の実施を対象とするものであって、特殊な取扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。本製品を使用するに当たって、提供された情報を適用するかどうかの最終的な決定は、使用者の責任で行ってください。全ての物質は、未知の危険性を呈する可能性があります、ここで示した危険性は起こり得る全ての危険性を網羅したものであるということを保証するものではありません。